世界遺産登録への道 Vol.22

新春対談「高校生が考える平泉の文化遺産」

今回は、市内の高校に通う若者2人のインタビューをご紹介します。新年の始まりにふさわしい、フレッシュな対談になりました。

清衡公が目指した「まちづくり」を現代に再現したい―

佐藤咲希さん
＝前沢高３年＝

◉世界遺産登録活動へのかかわり

【咲希さん】 小中高生を対象とした「ときめき世界遺産塾」に4年間参加しました。わたしの場合は、そもそもこの世界遺産塾に参加したことが、平泉の文化遺産に興味を持つきっかけにもなりました。ジュニアリーダーの活動を通して、大好きな地元・平泉の良さを再認識でき、自分にとって良い機会になりました。一番の思い出は、昨年県が盛岡と仙台で開催した「世界遺産フォーラム」で、祐太さんと二人で講演したことですね。同フォーラムでは、普段聞くことができない講師の方々のお話を聞くことができたほか、めったにできない経験をたくさんさせていただいて、本当にやって良かったと思います。

【祐太さん】 同じくときめき世界遺産塾に6年間参加しました。めんこいテレビ主催の「世界遺産ガイド」で子どもたち相手にガイドをしたときが一番大変な思い出として残っています。子どもに教える難しさを痛感しました。ガイドの研修などを通して、自分も学ぶことがたくさんありました。

◉平泉文化遺産の魅力

【咲希さん】 清衡公の思い描いた浄土思想は世界に通じる思想だということです。現代にも生かせる思想だと思っています。わたし自身とても感動しましたので、より多くの人に知ってほしいと思います。

【祐太さん】 咲希さんと同じです（笑）。やはり浄土思想の「平和」という理念（考えること）は、忘れてはいけない原点だと思います。供養願文にあるとおり、清衡公は敵・味方の区別無く慰め、また同じ悲しみを後世の人に味わってほしくないと願う、すごく優しい気持ちを持っていたのです。気持ちだけでなく、都市計画に盛り込み、浄土国家の建設を目指す行動を起こしました。この平和国家を目指したという「独自性」は、地元民として誇りに思います。

◉今後の抱負

【咲希さん】 わたしは将来、平泉に貢献できるような仕事をしたいと思います。清衡公が目指した『まちづくり』を現代に再現したいという希望を持っています。自然をそのまま残し、住民が皆が住みやすく、困っている人がいないようなまちづくりです。

【祐太さん】 「農業を守る」ということも清衡公の思いでした。人に良いと書いて『食』です。農業を守ること、食を守ることは、一石二鳥どころでなく、たくさんの効果に通じると考えます。4月から農業大学校に進学し『魅力ある農業を』追求していきたいと思っています。具体的には、自分は有機農法を習得し、この農法を全国に広めたいという夢を持っています。

清衡の思いの１つ「農業」を守り育てていきたい―

佐藤祐太さん
＝水沢農業高３年＝

◉同世代へのメッセージ

【祐太さん】 「岩手に平和な国をつくろうとした人がいた」ということを誇りに思ってほしいです。「岩手には藤原三代がいた」―このことをどんどん宣伝してもらいたいです。そうすることが世界遺産登録に通じることだと考えます。

【咲希さん】 世界遺産登録活動は、これまでの大人の人たちのチカラです。しかし、これを守って伝えていくのはわたしたち若者です。興味のないことを勉強することは難しいことですが、地元のことを知ることは難しいことではないと思います。若いチカラで盛り上げていきましょう。

■問い合わせ 世界遺産登録推進室（前沢総合支所内線312、313）

※21ページに世界遺産ガイド養成講座の募集記事を掲載しています

消費生活Q&A相談

このコーナーでは、普段の生活で実際に相談があった事例から、その対処方法などを紹介します。
消費生活相談は各総合支所で行っています。詳しくは広報おうしゅうお知らせ版の「相談窓口」を参照してください。

注文した覚えがない代金引換の小包

（相談者　50代男性）

Q 先日、妻が病気で亡くなり、その悲しみの癒えぬ最中のことでした。

亡くなった妻あてに覚えのない業者から代金引換郵便で「数珠」が届けられました。代金は1万4700円となっていました。妻は通信販売などを利用する余力などはまったくなく、不審に思い、小包が届けられた時点で受け取り拒否をしました。念のために、その業者に電話を入れてみたところ「犯罪の疑いのある電話である」などとメッセージが流れました。

亡くなった人を冒とくするようなやり口の目的は何なのでしょうか。

A これは「送り付け商法」という悪質なものです。新聞の「お悔やみ」「おめでとう」欄で亡くなった人や出生の記事を見て住所を調べ、それに関する商品を送り付ける商法です。以前は市内でも、生まれたばかりの赤ちゃんの「幸運になる印鑑」を勝手に送り付け、代金を振り込ませる手口が横行しました。今回は、葬儀の慌ただしさの最中を見計らって、あたかも故人が生前に注文をしていたかのように送り付けたものです。

事例の相談者のように、不審に思ったら、受け取りや支払いをしないでください。受け取ってしまった場合でも、勝手に送り付けてきたものであれば、14日間保管すれば自由に処分できます。また業者に書面で引き取りを要求した場合には、その後7日間保管すれば処分できます。

代金引換の場合には、お金を支払ってしまうと、取り戻すことが非常に困難です。特に注意してください。（本庁市民課総合相談室）

こんにちは！市長です

奥州市長　相原正明

夕闇迫る水沢区大町商店街の中央駐車場に歓声が沸き起こり、環境に優しい新エネルギーを活用したイルミネーションの点灯が始まりました。主催したのは(株)まちづくり奥州さんで、廃食用油から作るバイオディーゼル燃料（BDF）を普及させる取り組みを行っておられます。

会場には、BDFで発電するディーゼル発電機と、木材チップやペレットで発電するスターリングエンジンと呼ばれる発電装置が用意されていました。

点灯式では、そばにいた小学2年の男の子に声を掛けて一緒に点灯ボタンを押すと、約2千球が一斉に光だしました。その子は「天ぷら油で発電できることに驚いた。使い終わった油の回収を手伝いたい」と話していたようです。

市でも19年度から、地球温暖化防止対策としてBDFを公用車やスクールバスに取り入れています。市民の皆様のご協力で今後ますます盛んにしたいと考えています。

この日は、風が冷たい中ではありましたが、中心市街地活性化の一助にもなればと思い、温たまる心地でした。

お元気レシピ

簡単朝食メニュー⑩

すごもり玉子

材料（4人分）

- 卵……4個
- ニンジン……¼本
- ゴボウ……½本
- 干ししいたけ……1個
- ごま油……小さじ1
- しょうゆ……大さじ1
- みりん……大さじ½
- 酒……小さじ1

作り方

①ニンジン、ゴボウを千切りにする。干ししいたけを水で戻し、千切りにする
②①をいため、しょうゆ、みりん、酒で味付けをし、きんぴらごぼうを作る
③アルミカップを用意して②を盛り、真ん中に卵を割り入れる
④蒸して卵に火が通れば出来上がり

わたしたちが作りました

胆沢学校給食センター

きんぴらを濃いめに味をつけ、汁も入れると卵に味がしみておいしいです。作り方の工夫として、卵を割る時に流れ出てしまわないように、アルミカップを重ねるとうまくいきます。